

# 「地方の潜在力発揮を」

## 石破・地方創生相が講演

天 童

石破茂・地方創生担当相は31日、天童市内のホテルで「地方から創生する我が国の未来」をテーマに講演した。石破氏は「全国の自治体に来年3月までに総合戦略を出してほしいとお願している。やりっぱなしではない行政、官に頼らない民間、関心を持ち行動する市民があつてこそ、地方の持つ潜在力が最大限に発揮される。そこには国が最大の支援をする」と強調した。

「石破氏は講演で、「経済成長や人口増加、地

価の上昇といった日本の繁栄を支えた前提は崩れた。昭和40年代半ばから50年代半ばにかけて地方が元気だったが、公共事業と企業誘致によるもので、財政がこれだけ厳しい中で同じことはできない」と指摘。「東京はこれから、ものすごい高齢化に直面する。東京にいる中高年の方々には、移住したい方は地方に移住してほしい。東京、地方がその特性を最大限に生かし、発展させることが次の時代に対する責任だ」と語った。

また石破氏は、製造業以外の日本の生産性は低いとし、「農林水産業の可能性を最大限に発揮してきたとは思わない。いかに付加価値を上げるかは、まだまだ改善の余地がある。それぞれの地域で考えてほしい」と話した。

【光田宗義】

**慈恩寺を視察**

石破地方創生担当相は31日、寒河江市の慈恩寺を視察した。佐藤洋樹市長や慈恩寺の関係者らと本堂などを巡り、建築物や内部の仏像の説明を受けた。

同市など、西村山地域の1市4町が連携して新しい観光ルートを開発する事業が、先進的な地方活性化事業に取り組み自治体に配分する内閣府の「地方創生先行型交付金」に選ばれたことを受けたもの。石破氏は視察後、「慈恩寺は日本文化に関心の高い欧米の人々に、訴求力が高いものだ。酒田港とこの地域を組み合わせて新しい

ゴールデンルートを作ることがあるだろう」と述べた。

【野間口陽】



地方創生をテーマに講演する石破茂・地方創生担当相＝天童市内のホテルで



慈恩寺を視察する石破氏（中央）＝寒河江市の慈恩寺で